

## 本 会 記 事

### 一般社団法人日本植物病理学会令和2年度第2回評議員会議事録

日 時：令和2年11月29日（日）14:00～16:30

場 所：オンライン開催（Zoom ミーティング）

出席者：

青木孝之，秋光和也，一瀬勇規，岩井 久，宇垣正志，大島一里，大島研郎，大藤泰雄，景山幸二，金山晋治，兼松聡子，菊武和彦，川北一人，北 宜裕，窪田昌春，久保康之，児玉基一朗，小林括平，近藤則夫，佐野輝男，澤田宏之，塩見 寛，鈴木信弘，高垣真喜一，高橋英樹，高野義孝，瀧川雄一，竹下 稔，柘植尚志，津田新哉，東條元昭，中島 隆，中島千晴，中島雅巳，夏秋啓子，夏秋知英，濱本 宏，曳地康史，平塚和之，藤 晋一，古屋成人，眞岡哲夫，増田 税，三瀬和之，守川俊幸，吉田重信，渡辺京子，渡邊 健，有江力会長，土佐幸雄副会長，足立嘉彦庶務幹事長，山次康幸副庶務幹事長，以上評議員52名（定員53名，欠席者1名：吉川信幸）  
幹事出席者：橋本将典会計幹事，竹内香純庶務幹事，キム オッキョン副会計幹事，川部眞登庶務幹事

#### I. 審議事項

##### 1. 令和3年度功績者の推薦

- 委員会より名誉会員に奥野哲郎氏，寺岡徹氏，土屋健一氏，阿久津克己氏が推薦されることが承認された。永年会員については宇杉富雄氏，粕山新二氏が推薦されることが承認された。

##### 2. 令和3年度論文賞の選定

- 令和3年度論文賞として以下の2報が選定されたことが報告され，承認された（筆頭著者名ABC順）。

Iori Imasaki and Ikuo Kadota. Control of Fusarium wilt of melon by combined treatment with biocontrol, plant-activating, and soilalkalizing agents. JGPP 85(2): 128–141 (2019)

Malek Marian, Akiko Morita, Hiroyuki Koyama, Haruhisa Suga, and Masafumi Shimizu. Enhanced biorcontrol of tomato bacterial wilt using the combined application of *Mitsuaria* sp. TWR114 and nonpathogenic *Ralstonia* sp. TCR112. JGPP 85(2): 142–154 (2019)

##### 3. 令和3年度学会賞，学術奨励賞の選定

- 選考経過が報告され，学会賞に3名，学術奨励賞に3名が選出されたことが報告され，承認された。選考結果は

以下の通りであった（氏名のABC順）。

学会賞：

中保一浩氏「トマトの青枯病抵抗性機構と防除に関する研究」

大島研郎氏「ファイトプラズマの生存戦略の分子生物学的研究」

白川 隆氏「野菜類の種子伝染性細菌病害，特にウリ科野菜果実汚斑細菌病の生態と防除に関する研究」

学術奨励賞：

橋本将典氏「広域ウイルス劣性抵抗性遺伝子の発見とその作用メカニズムに関する研究」

兵頭 究氏「植物RNAウイルスの複製に関わる宿主因子の研究」

埋橋志穂美氏「植物病原性卵菌類の分類に関する研究」

#### 4. 令和4年度大会開催地について

- 令和4年度大会を北海道札幌市において開催することが提案され，承認された（会場：札幌コンベンションセンター）。

#### 5. 令和3年度 事業計画書および収支予算書について

- 令和3年度の事業計画と収支予算案が提案され，審議の後，承認された。

#### 6. 3学会の運営支援に関する日本植物防疫協会への業務委託契約について

- 令和3年1月1日から締結する学会の運営支援に関する日本植物防疫協会との業務委託契約書，仕様書および学会への支援要領が説明された。審議の後，承認された。

#### 7. 令和3年度 大会準備状況について

- 対面とオンラインでのハイブリッド方式で開催する令和3年度植物病理学会大会の準備状況に関して報告がされた。あらためて，ハイブリッド方式での開催が承認された。対面で開催される総会，評議員会，理事会等には，評議員の出席が要請された。

#### II. 報告事項

##### 1. 令和2年度 副会長候補者選出選挙結果の報告

- 令和3年度副会長候補者に増田税氏が選出されたことが報告された。
- 副会長候補者選出規程および監事候補者選出規程から被選挙権の年齢要項が漏れていたため，次期総会での改定が必要と報告された。

2. 日本農学進歩賞の受賞者
  - ・本学会が推薦した浅井秀太氏の受賞が決定したことが報告された。
  - ・授賞式、受賞講演及び祝賀会が11月27日に東京大学農学部弥生講堂で行われたことが報告された。
3. 令和2年度大会・部会・研究会・談話会開催状況
  - ・令和2年度大会および研究会等は開催が中止され、北海道部会はハイブリッド開催、他の部会に関してはオンライン開催が行われたことが報告された。
4. ACPP2020中止
  - ・4月6日付で第8回アジア植物病理学会の開催の中止を決定したこと、開催準備から中止決定に至るまでの業務内容、収支決算に関する報告が行われた。
5. 日韓植物病理学会合同シンポジウム
  - ・ACPP2020と同時開催予定であった日韓植物病理学会合同シンポジウムも中止となったことが報告された。現時点では、次の開催は未定であることが報告された。
6. 編集委員会報告
  - ・2020年1～10月受付分の投稿原稿数として、英文誌301本（受理率17.08%）、和文誌6本（同100%）であることが報告された。
  - ・2018年のJGPPのImpact Factorが0.974であることが報告された。
  - ・和文誌への投稿が少ないため、積極的な投稿への要請があった。
7. 病名委員会報告
  - ・日本植物病名データベースからのデータ提供の状況および病名目録編集・公開の状況について報告された。2020年8月版病名目録を作成し、ホームページにて一般公開したことが報告された。
8. 将来問題検討委員会報告
  - ・会員数の減少、若手会員の活性化、ダイバーシティ対応などについて報告がされた。
  - ・学会誌のオンライン化と冊子体の配布の選択について、冊子体とオンラインを選べるようにし、冊子体を減らして支出を減らした分を会費の減額や論文の投稿料の無料化に反映する案が示され、今後も議論を行っていくことが報告された。
9. 日本微生物学連盟報告
  - ・日本微生物学連盟「野本賞」への積極的な推薦および応募について依頼された。
10. 日本農学会報告
  - ・2020年度1回日本農学会運営委員会が9月11日にウェブ会議（Zoom会議）で開催され、日本農学賞の受賞候

補者の推薦について報告された。農学賞選考委員として有江会長および平塚理事の登録が報告された。

11. 日本植物保護科学連合報告
  - ・本年度はコロナの影響によりシンポジウムを開催せず、これまでのシンポジウムを基に連合からの提言をまとめること、シンポジウムを開催しなければ支出がほとんどないため負担金を各学会へ求めないことが報告された。
12. 山口大学中高温微生物研究センター「全国共同利用・共同研究拠点」申請に係る要望書
  - ・山口大学中高温微生物研究センターより「全国共同利用・共同研究拠点」申請を行うにあたり本学会から要望書の提出を求められ、対応したことが報告された。
13. 国際植物防疫年2020 オフィシャルサポーター登録申請
  - ・国際植物防疫年2020 オフィシャルサポーターとして登録することが承認された。
16. その他
  - ・令和3年度に秋田県立大学で開催される教育プログラムが20～30名を限度として開催することなどが報告された。

#### 一般社団法人日本植物病理学会令和2年度第2回理事会議事録

日時：令和2年11月29日（日）16:00～16:40

開催方法：オンライン開催（Zoom ミーティング）

#### 出席者

理事：有江 力会長（代表理事）、土佐幸雄副会長（代表理事）

増田 税、高橋英樹、夏秋知英、中島 隆、平塚和之、景山幸二、高野義孝、一瀬勇規、竹下 稔 以上理事  
11名（現員11名、欠席者0名）

監事：濱本 宏、渡辺京子、夏秋啓子 以上監事3名（現員3名、欠席者0名）

オブザーバー：足立嘉彦、山次康幸、橋本将典、キム オッキョン（幹事4名）

#### 審議事項

1. 令和3年度事業計画書および収支予算書について
2. 令和2年度第2回評議員会の審議事項の確認

#### 報告事項

1. 令和2年度第1回理事会議事録の確認
2. その他

#### 議事経過の概要

11月29日、オンライン会議で開催された令和2年度第

2回評議員会の終了後、引き続き、評議員を兼任する理事11名、監事3名がシステム上で問題なく参加していることを確認した。

定款第31条により有江力会長が議長となり、本会の成立を報告した。

### 1. 令和3年度事業計画書および収支予算書について

議長より、資料に基づき、令和3年度事業計画書および収支予算書の説明がなされた。議長の指示により、オブザーバーの足立庶務幹事長、橋本会計幹事およびキム副会計幹事より補足説明がなされた。審議の中で日付等の誤りを修正後、議長が本件の承認を求めたところ、全員異議なく、本件は承認された。

### 2. 令和2年度第2回評議員会の審議事項の確認

議長より、同日、本会に先立って開催された令和2年度第2回評議員会において、審議承認された以下の6件、

- 1) 令和3年度功績者の推薦について
- 2) 令和3年度論文賞の選定について
- 3) 令和3年度学会賞、学術奨励賞の選定について
- 4) 令和4年度大会開催地を北海道札幌市とする件について
- 5) 3学会の運営支援に関する日本植物防疫協会への業務委託契約について

### 6) 令和3年度大会準備状況について

について説明がなされた。議長より、理事会での承認を求めたところ、全員異議なく、6件は承認された。

### 3. 報告事項

議長の指示により、足立庶務幹事長より令和2年度第1回理事会議事録および臨時理事会議事録の報告が行われた。

以上をもって、議事が終了したので、議長は閉会を宣言し、16:40 散会した。

## 一般社団法人令和3年度事業計画書および収支予算書

### 1. 行事予定

- (1) 学会報(英文誌第87巻1~6号, 和文誌第87巻1~4号)を発行する。
- (2) 大会, 部会, 談話会, 研究会等を開催する。
  - 1) 大会: 令和3年3月17~19日 三重県総合文化センター(津市)およびオンラインとのハイブリット開催
  - 2) 北海道部会: 令和3年10月14~15日 北海道大学農学部(札幌市)
  - 3) 東北部会: 令和3年10月頃 宮城県仙台市内を予定
  - 4) 関東部会: 令和3年9月21~22日 東葛テクノプラ

ザ(柏市)

- 5) 関西部会: 令和3年9月21~22日 金沢商工会議所(金沢市)
- 6) 九州部会: 令和3年11月 熊本県内を予定
- 7) 第30回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム: 令和3年3月予定 オンライン開催
- 8) 第20回病原菌類談話会: 令和3年6月 オンライン開催
- 9) 第16回バイオコントロール研究会: 令和3年夏頃 会場未定
- 10) 第55回植物感染生理談話会: 令和3年9月1~3日 ANA ホリデイ・イン リゾート宮崎(宮崎市)
- 11) 第14回病害診断研究会: 令和3年10月予定 開催地区未定
- 12) EBC研究会: 開催時期・場所ともに未定 (ワークショップ開催の方針は決定。詳細は令和3年3月頃に決定予定)
- 13) 第16回植物病害診断教育プログラム: 令和3年8月下旬予定 秋田県立大学
- (3) 定時総会: 令和3年3月 令和2年度事業報告・決算承認および令和3年度理事選任  
 理事会: 令和2年度第3回(令和3年2~3月) 令和2年度事業報告・決算承認  
 令和3年度第1回(令和3年3月) 代表理事選任  
 令和3年度第2回(令和3年11月) 令和4年度事業計画・予算承認  
 評議員会: 令和2年度第3回(令和3年3月) 定時総会議案事前審議  
 令和3年度第1回(令和3年11月) 令和3年度事業計画・予算承認
- (4) 学会賞, 学術奨励賞, 論文賞等の選考を行う。
- (5) 大会において学生優秀発表賞の選考を行う。
- (6) 名誉会員, 永年会員の推挙を行う。
- (7) 令和4年度理事候補者(次期副会長候補者)および令和4~5年度監事候補者の選出を行う。
- (8) 令和4年度理事候補者(次期会長候補者, 次期副会長候補者)を総会へ推薦し, 次期会長候補者, 次期副会長候補者として理事会への推薦を行う。
- (9) 令和4~5年度評議員の選出を行う。
- (9) 日本農学進歩賞, 日本学術振興会賞等の受賞候補者の推薦を行う。
- (10) その他

## 2. 一般会計収支予算書（令和3年1月1日から12月31日まで）

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>I 事業活動収支の部</b>			
<b>1. 事業活動収入</b>			
<b>会費収入</b>	19,984,000	20,420,000	△ 436,000
正会員会費収入	11,920,000	12,090,000	△ 170,000
学生会員収入	1,170,000	1,310,000	△ 140,000
学部生会員収入	21,000	18,000	3,000
外国会員収入	93,000	222,000	△ 129,000
準会員費収入	1,530,000	1,530,000	0
賛助会員	5,250,000	5,250,000	0
<b>会報刊行収入</b>	7,010,000	6,675,000	335,000
頒布収入	2,400,000	2,375,000	25,000
広告料収入	110,000	80,000	30,000
著者負担金収入	4,500,000	4,220,000	280,000
<b>事業収入</b>	13,968,000	13,480,000	488,000
大会収入	8,010,000	10,910,000	△ 2,900,000
部会収入	2,710,000	2,050,000	660,000
談話会・研究会収入	2,518,000	520,000	1,998,000
教育プログラム収入	730,000	0	730,000
<b>研究成果促進費収入</b>	0	3,500,000	△ 3,500,000
<b>雑収入</b>	74,000	114,000	△ 40,000
預金利息収入	4,000	4,000	0
雑収入	70,000	110,000	△ 40,000
		0	
<b>事業活動収入計</b>	41,036,000	44,189,000	△ 3,153,000
<b>2. 事業活動支出</b>			
<b>会報刊行費支出</b>	15,400,000	16,800,000	△ 1,400,000
印刷製本費支出	11,400,000	12,400,000	△ 1,000,000
編集費支出	4,000,000	4,400,000	△ 400,000
<b>事業支出</b>	16,100,000	14,360,000	1,740,000
大会支出	9,010,000	10,910,000	△ 1,900,000
部会支出	3,230,000	2,750,000	480,000
談話会・研究会支出	3,000,000	700,000	2,300,000
教育プログラム支出	860,000	0	860,000
<b>学術奨励関係費支出</b>	755,000	1,050,000	△ 295,000
<b>国際学術交流費支出</b>	150,000	150,000	0
<b>情報電子化費支出</b>	2,050,000	1,250,000	800,000
HP 充実費支出	1,450,000	450,000	1,000,000
情報維持費支出	600,000	800,000	△ 200,000
<b>男女共同参画支援費支出</b>	100,000	100,000	0

負担金支出	690,000	6,690,000	△ 6,000,000
男女共同参画学協会連絡会	10,000	10,000	0
JABEE 負担支出	50,000	50,000	0
農学会負担支出	130,000	130,000	0
植物保護科学連合負担金支出	50,000	50,000	0
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金支出	50,000	50,000	0
ISPP 負担金支出	300,000	300,000	0
ACPP 開催負担金支出	0	6,000,000	△ 6,000,000
事業運営費支出	3,120,000	3,120,000	0
会議費支出	800,000	800,000	0
旅費交通費支出	1,750,000	1,750,000	0
各種委員会関係費支出	570,000	570,000	0
管理費支出	4,755,000	5,057,000	△ 302,000
通信運搬費支出	300,000	410,000	△ 110,000
消耗品費支出	125,000	240,000	△ 115,000
事務管理費支出	3,190,000	3,265,000	△ 75,000
印刷費支出	100,000	100,000	0
法人化関連費	0	0	0
外部監査管理費支出	300,000	162,000	138,000
雑支出	740,000	880,000	△ 140,000
ACPP 2020 開催準備関連費	0	0	0
事業活動支出計	43,120,000	48,577,000	△ 5,457,000
事業活動収支差額	△ 2,084,000	△ 4,388,000	2,304,000
<b>II 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入	0	6,000,255	△ 6,000,255
学術事業安定化基金	0	0	0
学術奨励基金	0	0	0
国際学術交流基金	0	0	0
ACPP2020 開催基金	0	6,000,255	△ 6,000,255
投資活動収入計	0	6,000,255	△ 6,000,255
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	1,234,515	△ 1,234,515
学術事業安定化基金	0	0	0
学術奨励基金	0	1,234,515	△ 1,234,515
国際学術交流基金	0	0	0
ACPP2020 特別基金取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	1,234,515	△ 1,234,515
投資活動収支差額	0	4,765,740	△ 4,765,740
<b>III 財務活動収支の部</b>			
当期収支差額	△ 2,084,000	377,740	△ 2,461,740
前期繰越収支差額	13,263,947	8,730,979	4,532,968
次期繰越収支差額	11,179,947	9,108,719	2,071,228

### 3. 学会報編集計画

#### (1) 編集機関

学会誌第 87 巻の編集は、英文誌 (Journal of General Plant Pathology), 和文誌 (日本植物病理学会報 Japanese Journal of Phytopathology) とともに下記のように岡山大学にて行う。

編集事務局：岡山大学農学部

編集委員長：一瀬勇規 (岡山大学)

編集副委員長：鈴木信弘 (岡山大学)

編集幹事長：能年義輝 (岡山大学)

印刷：英文誌 シェプリング・ジャパン (株)  
和文誌 中西印刷 (株)

発行日：英文誌 1号1月, 2号3月, 3号5月,  
4号7月, 5号9月, 6号11月  
和文誌 1号2月, 2号5月, 3号8月,  
4号11月

#### (2) 投稿要領

英文誌については、ウェブサイト <https://www.editorialmanager.com/jgpp/> にアクセスして投稿すること。

和文誌原稿は、投稿規定・細則に従って作成し、本文および表・図の電子ファイル、必要事項を記入した和文投稿票ファイル\*を付して、編集委員会 (jgpp-jjp@okayama-u.ac.jp) あてに電子メールで送付すること。

(\*投稿票ファイルは [http://www.ppsj.org/journal-submission\\_procedure.html](http://www.ppsj.org/journal-submission_procedure.html) よりダウンロードすること。)

#### 2020 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録

日時：2020 年 12 月 11 日 (金) 15 時より

場所：Web (Zoom) 会議

出席者：

西澤直子会長, 大杉 立副会長, 大政謙次副会長, 大山卓爾監事, 與語靖洋監事 (雑草 (代)), 松元 哲 (園芸), 矢部和弘 (シス農), 松下範久 (樹木医), 中村英光 (植調/農薬), 高橋輝昌 (森立), 土肥哲也 (生態), 岩田洋佳 (育種), 伏信晋矢 (応糖), 野村昌史 (応動昆), 矢沢勇樹 (海水), 飯森文平 (国地開 (代)), 青木直大 (作物), 中川貴之 (獣医), 川部真澄 (植病 (代)), 玉井幸治 (森林), 渡邊壮一 (水産), 塩出大輔 (水工), 安永円理子 (生環), 齋藤勝晴 (草地), 山内啓太郎 (畜産), 渡邊 学 (動遺育), 大塚重人 (土肥), 宍戸雅宏 (土微), 上吉原裕亮 (熱農), 杉田直樹 (農経), 浅見忠男 (農化), 小原 均 (農作), 田中 智 (繁殖), 廣政幸生 (フード (代)), 久保寺秀夫 (ペドロ), 榎本有希子 (木材), 小口広太 (有機), 五月女格 (食料工), 荒木徹也 (農施), 石神靖弘 (農情), 吉田修一郎 (農村工), 牧山正男 (農

計), 落合 陽 (木質/木材加工 (代)), 興梠克久 (林経), 黒住圭子 (事務担当)

欠席者：

堀田和彦 (実農), 龍原 哲 (森計), 宮部和幸 (地域経), 太田能之 (家禽), 松村一善 (砂丘), 鈴木雅京 (蚕糸), 飯島健太郎 (芝草), 山本清龍 (造園), 丸山篤志 (気象), 澤田 守 (経営)

議長：西澤会長

進行：中川庶務担当常任委員

議事：

- 2020 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録 (案) の承認について
- 2020 年度事業報告 (案)
- 2020 年度収支決算報告 (案)
- 2021 年度事業計画 (案)
  - 2021 年度シンポジウムテーマについて
- 2021 年度収支予算計画 (案)
- 2021 年度社員総会および日本農学賞選考会について
- 2021 年度会員 (学協会代表者)・運営委員・常任委員について
- 2021 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順
- その他
  - 新型コロナの影響に関するアンケート調査について
  - 日本学術会議の要望書を支持する声明について

(注 新型コロナウィルスは以下「コロナ」と表記する)

議事 1. 2020 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録 (案) の承認について

中川庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事 2. 2020 年度事業報告 (案)

中川庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

シンポジウムについては齋藤企画担当委員から資料に基づき説明があった。

議事 3. 2020 年度収支決算報告 (案)

中川庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事 4. 2021 年度事業計画 (案)

中川庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

日本農学大会は 2021 年 4 月 6 日 (火), シンポジウムは 10 月 2 日 (土) に理事会で決定した旨報告があった。

シンポジウムテーマについては齋藤企画担当委員から説明があった。テーマは「アフター・ウィズコロナの農学 (仮)」に決定。今後、トピックスを募集するのでご協力をお願いがあった。

議事 5. 2021 年度収支予算計画 (案)

中川会計担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事 6. 2021 年度社員総会および日本農学賞選考会について

中川庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。今回はコロナ感染が拡大している中での開催なので、いずれもオンライン開催とすること、日本農学賞選考会における業績発表や投票などがオンラインとなることから、詳細については後日連絡する旨説明があった。

議事 7. 2021 年度会員（学協会代表者）・運営委員・常任委員について

中川庶務担当常任委員より資料に基づき、会員、運営委員および 2021 年度の常任委員担当学会について報告があった。

議事 8. 2021 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順

中川庶務担当常任委員よりオンラインあみだくじの説明があった後、厳正な抽選により以下のように推薦学会の発表順が決定された。

発表順：

1. 日本雑草学会
2. 日本家禽学会 / 日本畜産学会
3. 日本農業経営学会 / 農業情報学会

4. 日本作物学会

5. 日本造園学会

6. 日本農芸化学会

7. 農業食料工学会

8. 日本育種学会

9. 日本農業気象学会

10. 日本水産学会

11. 日本応用糖質科学会

12. 日本応用動物昆虫学会

13. 農業農村工学会

14. 日本木材学会

15. 日本土壌肥料学会

議事 9. その他

・新型コロナの影響に関するアンケート調査について

斎藤企画担当常任委員より資料に基づきアンケートの協力依頼があった。来年 1 月に送付予定。

・日本学術会議の要望書を支持する声明について

中川庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

以上